



CASE
1

秋田県産の素材で健康食品を

【合同会社 地域とともに】 <http://community-with.com/>】

〒010-8572 秋田県秋田市山王 3-1-1 秋田県庁第二庁舎 3F / TEL. 018-874-9110・FAX. 018-853-1793
E-mail: info@community-with.com

「企業は
社会貢献のため
に存在する」と
松井範明さん



A

**健康食品メーカーで培った経験を活かし、
地域とともに、製品開発に邁進**

秋田県産の健康食品を国内外に販売したい

横手市出身の松井範明さんは、大阪に本社を置く健康食品メーカーに10年勤めた健康食品のプロフェッショナル。健康食品の営業販売、企画開発、原材料の買い付けなどの業務を通して健康食品の基礎を学びながら、「いつか秋田の豊富な農業資源を活かして健康食品を作りたい」という思いを温めていた。

2016年6月、「秋田県産の原材料を使って加工した製品を国内外に販売し、地域に貢献する」という確固たる目標を掲げ、合同会社「地域とともに」を設立。現在は創業支援室を拠点とし、原料となる農産品を探し求め、県内全域の農家を訪問する日々だ。

地域を豊かにする製品づくりを目指して

看板商品として開発した「あきた美人ピクルス」は、伝統野菜の山内にんじん、じゅんさいのほか、アスパラ、山うどなど秋田県産の旬の野菜を洋風のピクルスに加工した製品だ。県南から県北まで、原材料の産地は県内全域

に及ぶ。「県南出身の自分が県北の農家さんとも繋がるのは、創業支援室に入居したお陰です」と松井さん。また、「地域とともに」という社名の通り、常に念頭に置くのは企業として地域に貢献すること。そのため、ピクルスの加工を委託したのは横手市の就労支援センター。商品を需要の高い漬物ではなく、あえてピクルスにした理由は、漬物を収入源とする農家の方々と競合しないためだ。

もう1つの看板商品である「すいか糖」は、松井さんの地道な農家まわりが結実したともいえる商品だ。旧雄物川町で長年すいか糖の加工を行い、後継者を探していた農家と、規格外のスイカの処理に困っていた若い農業法人のグループ、両者を引き合わせ、製品化につなげた。また、秋田大学の池本敦教授と横手市が共同開発したBWEエキスを配合された『すいか糖BWEエキス』も製品化し、今後の営業展開が期待されている。



B



C

- A 色鮮やかなピクルスは県産品プラザやANAフェスタ、首都圏のスーパーなどで販売中
- B 秋田の食材を生かして作ったピクルス各種と自社で開発した健康食品を販売
- C 「立ち仕事の女性におすすめ」という伝統的な健康食品「すいか糖」

※未成熟なスイカの抽出物。健康に役立つ効果があることが確認された。

事業概要 創業支援室

創業や新事業分野進出を目指す意欲的な企業等に、事務スペースを提供します。秋田県よろず支援拠点等への日常的な経営相談が可能です。

お問い合わせ

あきた企業活性化センター／総合相談課
(018-860-5610)まで。